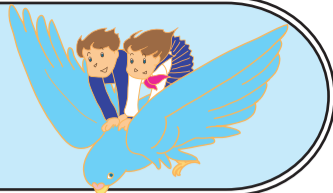


# 君とつばさ



平成29年10月10日  
 発行・公益財団法人 交通遺児育英会  
 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-1  
 (電話) 03(3556)0771  
 (HP) http://www.kotsujii.com

©交通遺児育英会

## 77家族153人が参加

8月19、20日、交通遺児育英会は都内で「高校奨学生と保護者のつどい」を開催した。77家族153人が参加し、ACジャパンの支援キャンペーン第3弾CMの高校生役を演じる矢崎希菜さんもゲストで参加した。(関連記事2面)

### 講演 高校奨学生と保護者のつどい

「高校奨学生と保護者のつどい」の前半は、心塾東京寮生・東洋大学2年の村田琴乃さんと保護者の小池有子さんの講演。父や夫を亡くし、その悲しみを乗り越え生きてきた体験を語った。2人の講演の要旨を紹介する。

#### 誰にも負けない個性を作る



村田琴乃さん

出身は大阪府です。小学校のとき、「私のお父さんはこの世のどこにもいないんだ」と気づき、心ばかり穴が開くほど虚しさを感じました。5年でソフトボール部に入部。入部の際、顧問の先生が「周りは男だけだけど、やっていける? お父さんと心配してるんちゃう?」と問われ、「日本にはいないんで」

と嘘をついてしまったときの後ろめたさ。父の日に先生から「皆で手紙を書こう」と言われ、「お父さんの仕事について聞いてみよう」と宿題を課される。友達からは「父さんの靴下臭くてホント、うざい」と愚痴を聞かされる。その度にごまかしながら応じる私は、次第に周りの距離を感じ始めました。その頃、ネットなどで、「母子家庭の子は情緒不安定」「就職や結婚に不利」など無責任な情報に触れ、「母子家庭だからと貶められるのは悔しい」と反発もしました。ソフトボールは2年間やり通し、また、論理的な思考をつけようとして、読書に耽りました。

#### 乗り越えられない困難はない



小池有子さん

一番思い入れがあるのは「私達の立っている場所」という授業です。丸山真男の『である』という授業で、中身の濃い授業でした。この頃には母子家庭のコンプレックスも消え、お父さんみたいな人もできました。剣道部の顧問とコーチで、部活外でも頑固な私を可愛がってくれて、お父さんがいたらこんなかなあ、と思いました。

#### ベッドに横になって

主人の会社から私に連絡が付いたのは夕方5時頃。そのときはまだ死んでいるなんて思わず、私だけでも先に病院に行こうと思ひ、子ども2人は主人の実家の両親へ頼み、車2台で病院へ向かいました。何度か行っている病院のほすなほに迷い、カーナビでやっと辿り着きました。

ベッドに横になって主人に会い、子どもと一緒に靴下をはかせてあげたような気がします。それからはやらなければならぬことがたくさんあり、無我夢中で、どうお葬式が終わったのか、覚えていません。

3週間経ち、私は職場に復帰しました。涙が止まらずに仕事にならないときもありました。でも、優しく見守ってくれた職場の仲間のおかげで乗り越えました。いま思えば、忙しく仕事を任せてもらったことが私を立ち直らせてくれたのです。いまでも、もちろん泣



矢崎希菜さん

「つどい」開会冒頭で、育英会の菅谷定彦理事長が、「つどいでいただいたご意見などを元に、29年度から修学支援として進学受験費用補助金の給

付(上限5万円)を開始しましたが、さらなる修学支援策として、来年度なるべく早い時期に運転免許取得費用の一部補助を実施できるように、いま検討しているところなんです」とあいさつ。続いて、職員から「つどい」のプログラムの説明があった後、サプライズで、ACジャパンの育英会CMで高校生役の矢崎希菜さん(16)が登壇した。会場は大きな拍手で包まれる。「3作目の高校生役に抜擢されて光栄です。同世代の育英会奨学生の皆さんの進学の夢に、少しでもお役に立てればと思っています」とあいさつした。



講演に聞き入る高奨生と保護者

ません。親は「片親だからこんな子に育ったのかな」と気にしないでください。その子が落ち込んでいたら、「やってのけるほどの力はある。やってみて」と勇気づけてください。

高校生の皆さん、誰にも負けない個性を作るために勉強しましょう。楽しくなって自信が付き、将来の糧となりますよ。

#### 乗り越えられない困難はない

主人の会社から私に連絡が付いたのは夕方5時頃。そのときはまだ死んでいるなんて思わず、私だけでも先に病院に行こうと思ひ、子ども2人は主人の実家の両親へ頼み、車2台で病院へ向かいました。何度か行っている病院のほすなほに迷い、カーナビでやっと辿り着きました。

#### 「あきたげる」



使用機材：CONTAXt、FUJIFILM400

東京造形大学 4年  
寺内 遥奈

休日は、それぞれホストファミリーと公園やビーチに出かけたり、ショッピングをするなどして楽しんでました。

「毎日が発見。楽しかった」「この3週間は私の宝物」「一生忘れない」などの声が多かった。(関連記事3面)

### 奨学生募集中



サンクレメンテビーチで

### 語学研修生24人 米から無事帰国

米国語学研修に参加した高校奨学生24人が8月11日、無事帰国した。一行は7月21日、ロサンゼルス郊外のミッションヒエホに到着、以後3週間、現地の家庭に1人

また2人でホームステイしつつ、週日午前には英語の授業を受け、午後は課外活動(アクティビティ)を行った。

課外活動では、カリフォルニア大学アーバイン校や科学センター、サーフィソ博物館、消防署、スペイン統治時代のオールドタウン、伝道所などを見学したほかハリウッド、ハリウッドなどを訪問、また、現地の同年代の学生たちと文化交流を行った。



キンモクセイの甘い香りが強くなるにつれ、秋の気配も色濃くなる

▼花木の香り  
 といえ、香木の香りを楽しむ香道がある。仏教布教とともに香をたく習慣が根付き、平安期には「薫物合せ」という宮廷遊戯に発展し、室町期に洗練された芸道として、香道が武家を中心に茶道とともに普及した▼香道では、東南アジア産の伽羅・沈香・白檀など希少な天然香木の木片をたいして鑑賞する「聞香」や、香の種類を聞き当てるのを競い楽しむ「組香」が代表的▼なぜ、「香を聞く」というのか。直木賞作家・葉室麟さんの『橘花抄』(新潮文庫)は、香を聞き茶を喫する場面が筋立ての演出として随所に出てきて味わい深い、そこに理由が書かれている▼「香積如来」がおられる天上の仏国土では、国中が芳香に満ち、仏法を説くのに文字や言葉を用いず、菩薩様たちは妙なる香に身も心も委ねて悟りを開くのだ。その故事にちなみ、仏様の教えに耳を傾けるように、香木の香りを法の声として聞くという▼現代でもアロマオイルが心のケアに重用されるが、香りの効用は大きいらしい。

本紙は、宝くじの社会貢献広報事業として助成を受け作成されたものです。



# 共感、励み、勇気を得る

「つどい」後半は、高奨生は別の広間に移動し、グループワークゲームに、保護者は6〜8人ずつ11グループに分かれて保護者懇談会に参加した。

## グループワークゲーム

高奨生66人、小・中学生8人が参加した。最初の15分間は互いに緊張を解くアイスブレイクゲーム。リーダーの指示で隣の人手をつなぎ、全員で同じ言葉を掛け合い、同じ動作をするゲーム。その後、9〜10人で8班に分かれ、皆に配布した紙に好きな食べ物や趣味を書き込み、対人形式でつ乗り移動していく「A



ゲーム「ステッピングストーン」

相手を代えて自己紹介する。30分ほどで皆が打ち解けたところでグループワークゲームの開始だ。2班対抗で四つのゲームを同時進行する。浴室の椅子を使い、その上を歩いていく「ステッピングストーン」や、全員がボードの上に両足を乗せて「オール・ア・ポード」、木材を円周上に配置して、その上に2人ずつ乗り移動していく「A

最後の20分は「グレートハンティング」という床のおぼしきを拾い集めて数を競うゲームを行った。皆の大歓声の中、フィナーレを迎えた。

## 保護者懇談会

育英会職員が進行役を務め、参加者からは当会への意見、要望が多く寄せられた。主なものは以下の通り。

①奨学金の返還②一定割合まで返還したら残りは免除という制度は、考えられないか③奨学金の借入れ④いまの借入額では不足なので、増額希望⑤返還時に負担が増すことになるので、望んでいない⑥海外語学研修⑦つどいで、体験報告があったらいい。

グループワークのときにいいのではないかと④心塾⑤いろいろな奨学生と触れ合える心塾は魅力的。都内に住んでいるが、心塾東京寮に入寮できないか⑥自動車運転免許証取得費用の補助⑦運転免許は就職だけでなく生活面でも必須。ただし安全運転に対する本人の認識が課題など。



活発な意見交換



高奨生の懇親会



保護者の懇親会

参加者は、グループワークゲームや懇談会ですっかり打ち解けていたため、会話が弾んだ。中締め後もそのまま会場に留まる人が多く、部屋に戻る人も名残惜しうだった。

## 懇親会

夕食を兼ねた懇親会では、高奨生、保護者が二つの広間に分かれ、グループワークゲームや保護者懇談会と同じグループでテーブルを囲んだ。

## 9家族が個別相談会に参加

懇親会の後、9家族の専門学校に進学希望だ(保護者9人と同伴の高奨生10人)が個別相談を希望し、育英会職員が応じた。相談が2時間余にも及ぶ熱心な家族もいた。主な内容は以下の通り。

・子育ての悩み②「子どもの将来が心配・心塾に関する問い合わせ③都内在住だが、東京の大学に進学する場合、心塾東京寮に入れるか④大阪

## 17家族33人が心塾を見学

「つどい」2日目、希望者17家族33人が東京・日野市の心塾東京寮を見学した。その後、食堂ホールで施設利用の規則や寮生活の心得、大学や専門学校への通学例、講座や年間行事について職員が詳しく説明し、見学者も部屋の間取りや設備について積極的に質問していた。また、心塾関西寮についても説明を受けた。



心塾東京寮見学者に職員が説明

## 大学で理学療法、将来は保健衛生学を

3年 大高 将来は保健衛生学に携わっていきたくて、進学先では理学療法を学びたいと思っています。学校生活を振り返ると、野球部の活動との両立が大変でした。2年から始めた朝学習。朝早くに登校し、45分間の勉強を自らに課しました。毎日休まず取り組むことで苦手の英語も基礎力をつけ、テストの点数を底上げすることができました。また、体育委員長や体育大会実行委員を務めたことで責任感やコミュニケーション能力を身に付け、皆で協力しての成功体験や仲間の団結力を手に入れたことがありました。



## 声

### 高校生の声

#### 熊本地震被災 建築士を志望

2年 前田 さつき 高校に入学して4日目に熊本地震で被災しました。1年は宿泊研修中でしたが、3時間、クラスの皆が何も情報がかめなまま待機を強いられました。母に電話して声を聞いたときには涙が出ました。県内の高校で一番被災が大きかった私の高校は、他県より1か月遅れの新学期スタートでな仕事としますが、同じ。運動会や文化祭、

## オーストラリアに3か月短期留学

3年 中本 みなみ 昨年6月から9月にかけてオーストラリアの姉妹校に3か月間短期留学(第1期生)しました。オーストラリアでは毎日新鮮で発見することばかりで、友達もたくさんできました。自分の将来の選択肢がすごく広がってきたことです。それがなければ、日本を出て世界の考え方を知らなかったらと考えると、高1のときからオーストラリアの姉妹校に進みたいと考えていました。そうした体験も、「あしながおじさん」のご支援があればこそで、私たち交通遺児はいまの生活が無事に送ることができています。自分の決めた道に向かって精一杯がんばります。(東京都)

## 参加者の声

### 高奨生 「母親の気持ち理解できた」

参加した保護者76人、高奨生67人が寄せた回答では、高奨生の89%、保護者の96%が「つどい」全体について「良かった」と答えた。高奨生は「同じ経験をした人たちの交流による癒やし、安心、心の解放」、保護者は「自分

### 保護者の声

「自分もがんばれると思った」高奨生67人が寄せた回答では、高奨生の89%、保護者の96%が「つどい」全体について「良かった」と答えた。高奨生は「同じ経験をした人たちの交流による癒やし、安心、心の解放」、保護者は「自分

語学研修  
レポート

# 貴重な体験は、一生の宝物

語学研修生24人は今夏の語学研修で、自分の進むべき指針となる体験をしたようだ。研修報告書の一部を紹介。(敬称略、写真は米国研修から)

## 日本と異なるところ

最も日本と異なると感じたところはフレンドリーなアメリカ人の人柄。ホストファミリーは近くにいる人すぐに話しかけていました。知らない人でも普通に世間話をし、挨拶し合ったりするところは日本にはない素敵な文化だと感じました。

勝見綾



午前中の語学研修

スターバックスで注文

戸谷雄大

スターバックスが好きで、アメリカでも必ず行

つてみようと思っていま

した。実際にいってみると、店員がハイテンションで何を言っているかわからず、自分が注文したものと違うものが出てきたときは、とても悲しくなりました。でも2回目にはちゃんと聞き取れてよかったです。

ゲームで語彙が増える  
安藤史織  
学校ではクイズやゲームを通して、他の友達や先生との距離を縮められました。驚いたのは、クイズやゲームをやっているうちに自然に語彙が増えていくことです。以前は使わなかった言葉が簡単にでてきたときは、自



カリフォルニア大見学

SNSでつながる仲間

須浪 優作

アメリカの文化、英語での日常会話、伝える力、どれも大きな刺激を与えてくれました。友達とSNSでつながっていることは、僕にとって一生の宝物です。

言葉として伝えられた

中澤 明里

最初は、ホストファミリーからの質問も、YESやNOでしか答えられませんでした。授業でやっていたことを思い出して、徐々に単語のみではなく、言葉として伝えられるようになっていきました。

日本とすべてが違う

本永輝

すべてが日本と違いました。道路がとても広い、そして通行人がいない、道路が広い割には歩行者専用道路が狭い、など。ショッピングでは、日本よりのすべてのサイズが1.5倍またはそれ以上で、驚きました。

研修で課題見つかる

岡山 遼軌

コミュニケーションの



ロサンゼルス観光

中で特に問題だったのは、相手の話がわからないときがあることです。相手が知らない単語を使ったり、発音がよくて聞き取れなかったりしたのうにゆっくり話してくれて、簡単な言葉に言い換え、何度も繰り返してくれました。3週間であんなにネイティブな人の言っていることがわかるようになり、会話がスムーズになりました。

家族の一員として

高田 旺紇

何よりうれしかったのは、ホストファミリーが僕を客として特別に扱うわけなく、本当の家族の一員として生活させてくれたことです。



ビーチで

昼前にブレイクタイム

木村 穂菜美

学校では昼食の前にブレイクタイムがあります。大体の家庭は、チップスに果物といった軽い食べ物を用意します。私は昼ご飯までにお腹が空くから、日本にもブレイクタイムを入れたらいいなと思いました。

皆が静かに話を聞く

村田 亮我

日本との相違点は、アメリカの学生は、大人が話しているときは皆が静かになり、話を聞くといいことが普通だ、という点です。この点は、日本人も見習うべきだと心底思います。

# 勉学&ソフトボール全力投球

長野 野島松本駅から松本電鉄上高地線15分ほど、西方に北アルプスの雄大な景色が広がる田園の中に、松本大学がある。

「周りに何もありませんから、週1の休みの日は松本市街に出る下級生部員もいますが、私たち上級生は毎日練習漬けなので、もっぱら寮で骨休め」と言うのは同大女子ソフトボール部に在籍する人間健康学部スポーツ健康学科3年の青柳みどりさん(21)。

部は毎年全国大会に出場する強豪で、部員は34人。大学から車で10分のところにある寮に寄宿する。青柳さんは、守備はショートで、打順は下位打線を担う。

から8時半までみっちり練習する。週末は県外大学との練習試合の遠征が続く。

青柳さんは福岡市出身で小1のときから男の子に交じり野球を始めた。中・高でソフトボールに入り、ポジション

にいて母・美由紀さん(54)をできるだけ支えたいと思っただからだ。青柳さんは迷った末、高校の推薦枠もとれ、美由紀さんも「好きなことは続けてほしい」と背中を押してくれたので、進学を決めた。

青柳さんが3歳になる直前に父・学さんは事故で亡くなった(享年35)。父の記憶はほとんどないと言っ

## はばたく

あおやぎ 青柳 みどり さん

松本大学 人間健康学部 スポーツ健康学科3年



右投げ左打ち、守備はショート

「1年のときは右膝を痛めて1年間を棒に振りました。2年では故障した右膝をかばってプレーするうちに左膝も痛めて、まともにプレーできないう状態が続きまして。今年からはケガもなく順調にここまで来ています。今度の全日本大学女子ソフトボール選手権大会では勝ち進みたいですね」

「ソフトボールの一番の魅力はスピード感。一瞬のプレーに引き込まれる。大学ではパワーも、高校までとは全然違います」と目を輝かせる青柳さん。

「一人の力ではここまで来られなかった。ソフトボールを通じて出会った指導者、仲間が私を支えてくれたからこそだと思います。ケガのときも苦しんでいる私を、監督やコーチ、チームメイトがずいぶんと励ましてくれました。感謝の気持ちしかないですね」

ただ、当初はソフトボールは続けず、地元大学に志望していた。というのも、地元にはソフトボールの強い学校がなく、兄・政潔さん(23)は地元の大学で1人暮らしで(地元で就職)、自分は近く

「いまはソフトボールと勉学の両立に全力投球です。早く母の力になりたいです」

「具体的な進路はまだ決めていない。卒業生は中高の保健体育の教諭、養護教諭、健康運動指導士、また、医療機関や福祉施設、スポーツセンターなどで活躍する。」

「いまはソフトボールと勉学の両立に全力投球です。早く母の力になりたいです」

## 心塾東京寮 2017サマーキャンプ

8月10、11日、恒例の心塾東京寮のサマーキャンプが栃木県の鬼怒川温泉オートキャンプ場で行われ、塾生45人、卒業生8人が参加した。



夕食はハヤシライス、夜食はバーベキュー



雨のため、テントとバンガローを使用



雨の中で水鉄砲遊び



温泉を満喫



育英会職員5人も含めると総勢58人

# 夢まっしぐら

富田 玲那 さん

日本柔道整復専門学校 (東京都渋谷区) 柔道整復学科2年



「祖父(73・母方)が柔道整復師で、それに憧れて。都内でマッサージ院をす

富田玲那さん(20)は日本柔道整復専門学校に通う。一時は大学の看護系学部を目指したが、最終的に今の学校を選んだ。

# 「母にキャンピングカーを」

と開いているんですが、60歳を過ぎて国家試験を受け柔道整復師の資格を取ったんです。柔道整復師は、柔術を起源とする治療法を用い、打撲、捻挫、骨折、脱臼などの治療

門基礎分野では、解剖学や生理学、運動学から整形外科学、リハビリテーション医学など。専門分野では、臨床柔道整復学や柔道整復実技があります。3年卒業時に国家試験の受験



学校の前で

を専門に行う仕事で、骨折や脱臼の応急手当を施す際には医師の同意が必要ですが、それ以外の治療については柔道整復師の判断で行うことができます。整骨院や接骨院、病院の整形外科、スポーツジムなどが主な勤務先です。柔道整復師は国家資格のある技術者の手で治療するというところで生き残れるかなと思って

資格が得られるんです。学校では学園祭の実行委員を1年からやっていて、学校の3階講堂を使って、ディスプレイ系のミュージカルなどを企画して行いました。授業は午前中だけ、午後はアルバイトですか? 「午後が自由に使えるのもこの学校を選んだ大きな理由の一つです。その時間を使い、流通関係の仕事の始めています。安倍首相が掲げる働き方改革で、『副業など柔軟な働き方の普及を』と言っていますが、この格差社会、自分で

「国家資格は取りたいと思っていますが、その仕事に就くかはまだ決めていません。私が母のお腹に入っているときに実父は交通事故で亡くなり(享年38)、4歳のときに母は再婚しました。その父は建築関連の会社を経営していて、子ども時代は何も自由ない暮らしをしていましたが、私が中2のときに亡くなったんです(享年49)。途端にどん底の窮乏生活に入りました。私が高校に入って以来、母は空揚げ専門食品会社で働き続けています。早く独立して皆の面倒が見られるように移さ、母に楽をさせたいと思っています。常々、『車で色んなところを旅してみたい』と母は言っています。いつか、キャンピングカーを買ってあげられたらと思っています。それが当面の目標ですね」

## オンステージ

患者や医療関係者の需要情報もつかむ。扱うものは、医薬品のほか注射針などの消耗品から医療機器なども含まれる。



支店で業務報告の作成



担当区域の営業に。一部配送も兼ねる

伊藤 達也 さん

(株)メディセオ中部支社 三重営業部上野支店

は鈴鹿医療科学大学保健衛生学部医療福祉学科で、小学校から大学まで友達もいっぱいいます。家族のことに話が及び、小さいときに

決 まった先の病院や処方箋薬局を、自分なりにルートを作って営業して回ります」と言うのは、医薬品や医療機器の卸売の大手メディセオ中部支社の三重営業部上野支店の伊藤達也さん(32)。

「業務内容は全く変わらなないので、ずっと今の会社にいます。この仕事は人との信頼関係がベースになりますから、そこを大事にしてつくづくよかったと思います。わが社は、医薬品卸売業の役割として高度な販

に所属する業務だ。医薬品情報を医療従事者に提供し、一方で、使用された医薬品の副作用の情報を収集し、製薬会社にフィードバックする。高い専門知識が求められるが、伊藤さんは、上野支店で率先して資格取得に挑戦する。

# 先進的な医薬品卸売りのエキスパートに

父が事故で亡くなったと隠さず話すと、『大変だったね』と応じてくれる気安さは、地元ならではの「母・絹代さん(57)は元看護師。機器メーカーに勤務していた父・宗和さんは、伊藤さんが1歳のときに亡くなった(享年31)。実家には母方の祖父・高之助さんと祖母・リツさん(共に84)が同居する。伊藤さんは昨年1月に愛子さん(33)と結婚し、今年1月に長女・寧々花さんが生まれた。3人は伊賀市の西方に隣接する名張市のアパートで暮らす。「可愛くてたまらないです。子どもが生まれて、自分の中で、仕事と家庭をしっかりと守ろうという意識が、ものすごく強くなりましたね。子どもをきっちり育てようと。ただ、子どもにどう接したらよいか不安があります。自分の中で父の記憶がなく、見本となる父親像がないんですね。周りを見ながら試行錯誤で、父親をやっています」伊藤さんは人一倍責任感が強い。「小さいころから、『父さんが天国から見ている』と親族によく言われたのが影響しているのかもしれないですね」と、自分の性格を分析する。そんな伊藤さんがいま「夢」を何かに「実はまだ結婚式と新婚旅行をやっていないんです。妻の実家が奄美大島で遠距離のためできなかったのですが、母に結婚式の写真を見せてあげたいですね」今年の夏は親子3人で奄美大島へ。訪れるのは2度目だそうです。

# 文武両道 礼に始まり礼に終わる

## はつらつ

### 久保田 康照 君

樟南高校電気工学科2年 男子剣道部

#### 鹿

児島市の樟南高校男子剣道部は連年インターハイ(全国高等学校総合体育大会)優勝3回、全国玉竜旗大会優勝2回、九州大会優勝5回の強豪だ。今年度は県選抜2位、九州選抜8位で、残念ながら全国大会には進めなかったが、部員は夏から1、2年生を中心に入れ替わり、12月の県高校新人剣道大会(全国・九州選抜予選)に向けて早くも始動している。電



12月の新人戦を目標にがんばります」  
剣道の団体戦は先鋒・次鋒・中堅・副将・大将の5人、補欠7人で試合する。部員は1年8人、2年10人の計18人。毎年、県高等学校剣道選手権で個人男子優勝などの入賞者を出し、今年1月の大会でも1年から優勝者、2年から優勝者と3位入賞者を出すほど、選手のレベルは高い。その中で試合出場機会を得るのは大変だ。剣道は小学校1年のときから町道場で始めた。



突きの練習。いま2段だが、来年は3段に



平日朝の練習は午前7時から8時まで。放課後の練習は午後4時からで、月・水・金が7、8時まで、火・木が6時まで。週末は遠征しての練習(学校対抗の練習試合)がほとんどで、ないときは午前中が練習で午後がオフに。正月やお盆も休みはせいせい3日くらいで、ほぼ剣道漬けの日々を送る。学校から徒歩

電気工学科2年の久保田康照君(16)も新チームメンバーの1人だ。  
「昨年は県で優勝し、全国大会・九州大会に出場しました。僕たちの代でも勝ち上がって、インターハイ・全国選抜出場を狙っています。もともと僕の場合、試合に出るメンバーに入ることが先決で、

兄・真弘さん(20)は硬式野球と町道場剣道をしていて、硬式野球は鹿児島実業高校のレギュラーだった。学校の推薦で福岡工業大学に進学、いまは硬式野球をしている。それに対して、久保田君は剣道一筋。小学校時代は町道場で上級生に交じって鍛えられ、中3のとき少年玉竜旗争

奪剣道大会中学生の部(福岡で開催。全国の中学校剣道部が参加)で、指宿市立山川中学校の先鋒として相手の先鋒から大将まで5人勝ち抜きを達成し表彰された。樟南高にはスポーツ特待生(学費・寮費免除)で進学した。

「剣道は『礼に始まり礼に終わる』ところが好きです。剣風は攻め続ける型や守りながら攻める型と人それぞれですが、自分に合ったものを見つづけるのが大事。自分は相手を誘い出し、出てきて打とうと竹刀を上げるところを小手打ちにするのが得意です」  
平日朝の練習は午前7時から8時まで。放課後の練習は午後4時からで、月・水・金が7、8時まで、火・木が6時まで。週末は遠征しての練習(学校対抗の練習試合)がほとんどで、ないときは午前中が練習で午後がオフに。正月やお盆も休みはせいせい3日くらいで、ほぼ剣道漬けの日々を送る。学校から徒歩

5分の学校寮で暮らし、6時半起床だ。  
「僕を含めて剣道部の2年が3人、1年1人の4人部屋です。練習の合間には自分で寮の周りを走ったり、筋トレや竹刀で素振りの練習をして、しっかり鍛えています。文武両道を目指し、勉強のほうも力を入れていきます。成績は電気工学科で7番、得意科目は社会と情報です。また、学科で機械や電気に関することを学ぶので、危険物取扱者や電気工事士など資格取得の勉強にも力を入れています」

#### 高

卒業後の進路についてはまだ決めていない。「JRに就職し、剣道着の前垂れにJRと入った姿で剣道の試合に臨むのが夢です。ただ、高校を卒業してすぐに就職するか、大学に進学するかで迷っています。いずれにしても、剣道が続けられるところに行きたいです」  
指宿市山川で農業を営む母・奈々美さん(45)は大学進学を望む。父・英樹さん(49)は本人の希望次第と述べている。10年前の交通事故で車いす生活を強いられるようになり、いまは鹿児島大学医学部の教授の先進的な治療のおかげで、装具とロフトランド杖(前腕固定型)で歩けるまでに回復。大きな大会の試合には奈々美さんと一緒に応援に行く。久保田君の奮闘ぶりが、英樹さんの闘病生活の励みになっているのだ。

## お母さんの背中

# がんばる母が代表でスピーチ

#### 北

北海道・美瑛町の白金温泉は旭川空港から車で30分、十勝連峰を南に望む白樺街道の中にある。赤津早苗さん(54)は、週2回同地区の温泉ホテルに



知事から母の日に贈られた表彰状を手に

が毎年表彰している。赤津さんは旭川市の居住地域の母子会に所属し、その対象に選ばれたのだ。ホテルの清掃以外では週に3〜4回、齋場に派遣されて働く。



あかさなえ 赤津 早苗 さん

(株)ビルテクノ (北海道旭川市)



美瑛町の湯元白金温泉ホテルで

子どもは、長男・幸治さん(35)、次男・裕治さん(33)、長女・美砂さん(19)、三男・蓮君(17)がいる。自営業の幸治さんが自宅に近いアパートに住み、いまは旭川実業高校2年の蓮君と2人暮らしだ。裕治さんは、名古屋で車部品製造の会社に勤務。美砂さんは、東京でスポーツレクリエーション関係の専門学校に通う。

「この間、次男が地元の子供を卒業する年で、卒業後は愛知のトヨタ関連の会社に就職しました。私は下の2人を抱えて、とにかく働かなくては。以来、ずっと働き通しです」

派遣される清掃員。  
「今年の母の日に北海道の高橋はるみ知事から表彰状をいただき、代表としてスピーチしたんです」  
厳しい環境の中で家計を支えながら懸命に養育にあたる母子家庭などの母親を支援する北海道母子寡婦福祉連合会。同会の推薦で、がんばっている母親を知事

「いつなるとき仕事が入ってくるかわからないので、プライベートの予定を入れていくんです。また、週に1、2回夜にそぼの食事と宿泊を兼ねた施設で食器洗いの仕事を兼務しています」  
赤津さんは、正月やお盆に休みを1日とれるかどうかというくらい働きつづめてある。

同窓生の結婚式で帰ってきたとき、『えらく年をとったなあ、そんなに小さかったっけ』と言ってましたね。長女が5歳、三男が2歳のときに夫の和則(享年34)が事故で亡くなりました。そのとき、長男はすでに高校を卒業し、ちゃんこ料理屋で働き、アパートで1人暮らしをしていました。次男も高

校を卒業する年で、卒業後は愛知のトヨタ関連の会社に就職しました。私は下の2人を抱えて、とにかく働かなくては。以来、ずっと働き通しです」

「三男は卓球が続けられる企業を希望しています。次男は自分の勤める会社に入ればと誘っていて、長男は試合や学校が遅くなったときの車での送り迎えをしてくれます。年が離れているので、上の2人が父親代わりみたいですね」  
美砂さんは専門学校卒業後は北海道に戻り、日本ハムや札幌コンサドーレのようなプロスポーツのマネジメントをする会社に入りたい、と希望している。年に1度札幌で行われる風のコンサートに2人で行くのが、恒例の行事になっている。  
「長女は高校時代サッカーをやっていて、夢中でしたから。人見知り激しく、東京での1人暮らしは心配でしたが、いまは学校で友達ができ、楽しいようです。4人とも普通でいいから、人生を地道に歩んでくれたらと思います。とくに娘には、私のような母子家庭にならないよう、結婚したら添いとけてほしいですね」

# あしながおじさんの広場



【7月】  
ささやかですが、お役  
立てくださる。

(京都府I・Tさん)

◇ 1月から7月分です。  
(千葉県W・Kさん)

◇ 若い人は未来の宝なの  
で応援します。  
(東京都N・Tさん)

◇ 暑い夏がやってきまし  
た。熱中症には気を付け  
てください。  
(神奈川県K・Rさん)

◇ 未使用の52円年賀はが  
き千枚寄付します。  
(岡山県A・Nさん)

◇ 自動車業界に携わる人  
間として、微力ながら支  
援します。  
(東京都H・Sさん)

◇ 【8月】

◇ 研究者、教育者として  
些少ではありますが、お  
役に立てれば。  
(愛知県H・Tさん)

## お便り

◇ 立れば幸いです。  
(大阪府N・Sさん)

## 未使用52円年賀はがき千枚寄付

◇ 少しでも負担がやわら  
ぎますように。  
(徳島県M・Mさん)

◇ 山口県T・Mさん

◇ 山口県S・Mさん

◇ 山口県S・Mさん

◇ 兵庫県H・Aさん

◇ 宮城県K・Yさん

◇ 埼玉県T・Hさん

◇ 東京都H・Sさん

◇ 千葉県T・Mさん

◇ 兵庫県H・Aさん

◇ 宮城県K・Yさん

◇ 埼玉県T・Hさん

◇ 東京都H・Sさん

◇ 千葉県T・Mさん

◇ 兵庫県H・Aさん

◇ 宮城県K・Yさん

◇ 埼玉県T・Hさん

◇ 東京都H・Sさん

◇ 千葉県T・Mさん

◇ 兵庫県H・Aさん

◇ 宮城県K・Yさん

◇ 埼玉県T・Hさん

◇ 東京都H・Sさん

◇ 千葉県T・Mさん

◇ 兵庫県H・Aさん

◇ 宮城県K・Yさん

◇ 埼玉県T・Hさん

◇ 東京都H・Sさん

◇ 千葉県T・Mさん

◇ 兵庫県H・Aさん

◇ 宮城県K・Yさん

◇ 埼玉県T・Hさん

太陽工業（広島市）様  
「信頼と変革」で  
明日を照らし続けて70年  
太陽工業様は、創業以来、安全  
第一を基に、多様化するお客様の  
ニーズに的確にお応えして、真心  
のこもった提案や魅力的な商品・  
技術・サービスの提供に全力を尽  
くし、今年、創業70周年を迎えら  
れました。社会的責任の実現にも  
積極的に取り組み、交通遺児支  
援のため永年にわたり、当会にご  
寄付をお寄せになつています。

## ご支援に感謝いたします 育英会から

### 市川工業高校で育英会出張講演

交通遺児育英会は7月14日、千葉県立市川工業高校で無料出張講演を行った。講演者は、奨学生保護者の中本悦子さんと心塾東京寮に在籍する法政大学2年の稲福李さん。

中本さんは夫が交通事故に遭った当時の状況を「つづき」に語った。子どもはまた中学生と小学生（娘3人）、加害者は事故の半年後、



中本悦子さん

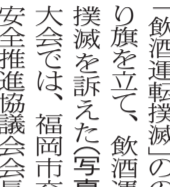


稲福李さん

「つづき」に語った。父がいけない境遇に苦しむ周囲に溶け込めなかった自分を、育英会の米国語学研修の体験が変えてくれた。「同じ境遇の交通遺児」。

### 福岡「飲酒運転撲滅大会」に参加

8月25日、「飲酒運転撲滅大会」（福岡市）と福岡市交通安全推進協議会などが主催が、福岡市役所西側ふれあい広場で開催された。育英会からは石橋健一専務理事ら3人が参加。「飲酒運転撲滅」ののぼり旗を立て、飲酒運転撲滅を訴えた（写真）。



安全推進協議会会長を

交通遺児育英会の連絡先(平日09:00~17:30)

▽つどい・語学研修について	0120-521219
▽募金・寄付について	0120-521285
▽奨学金貸与について	0120-521286
▽返還・猶予・免除について	0120-521287
▽成績相談などについて	0120-521295
▽心塾入寮申し込みについて	0120-355619

## 宝くじは、みなさまの豊かな暮らしに役立っています。

宝くじは、図書館や動物園、学校や公園の整備をはじめ、少子高齢化対策や災害に強い街づくりまで、さまざまなかたちで、みなさまの暮らしに役立っています。